

日本コンクリート工学会四国支部

各種混和材料のコンクリートへの積極利用による高性能の付与に関する研究委員会

1. はじめに

一般的に、フライアッシュや高炉スラグ微粉末などの産業副産物をコンクリートに利用する場合には、資源の有効利用や環境負荷低減の観点から、混和材料混入によってコンクリートの品質に悪影響を及ぼさないことを確認することや、品質低下する場合にはその影響が少ない場所に利用することが行われてきている。従って、高強度コンクリートを製造する際にはシリカフュームを利用するが、それ以外では積極的にコンクリートに混和材料を利用することはあまりないと思われる。しかしながら、フライアッシュコンクリートは普通コンクリートに比べ鉄筋腐食抵抗性が高いことや銅スラグ骨材は石灰石骨材と同様にコンクリートの収縮を低減することなど、混和材料を利用することによりコンクリートの性能を改善できることが報告されている。そこで、本研究委員会では種々の混和材料を積極的に利用して性能を高めたコンクリートの製造方法に関して検討しようとするものである。

2. 活動内容

本委員会では主として混和材料を積極的に利用するコンクリートを対象とするが、未利用の産業副産物のコンクリートへの利用についても検討する。本委員会で扱うコンクリートは以下のものを想定している。

1. 混和材料を利用して性能が改善されるコンクリート
2. 産業副産物の利用など環境負荷低減に貢献するコンクリート
3. その他（例えば、震災ガレキの処分と有効利用）

本委員会では最終的には検討結果を報告書として取りまとめ、講習会を開催する予定である。

3. 委員会構成案

委員はコンクリート工学会誌上の会告で公募する。以下は予定している委員である。

愛媛大学 氏家勲、河合慶友

徳島大学 橋本親典

香川高専 水越睦視

高知高専 横井克則

国土交通省四国技術事務所

住友共同電力株式会社 濱田英樹

三菱マテリアル直島精錬所 田中道廣

：

：